



山口県本部版
 NO 282
 治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟
 山口県本部
 〒754-0004
 山口市小郡金堀町
 21番の1
 林洋武方
 電話&FAX
 083 (972) 3987

“伊藤千代子”の映画上映会へ向けて
 原作者：藤田廣登氏を迎え学習会
 (2月23日・山口市)

- ◆ ロシア、プーチン大統領へ抗議。
 “ウクライナから直ちに撤退せよ”
- ◆ 2月23日、山口市で行われた「伊藤千代子学習会」には22名が参加。講師・藤田廣登氏のあふれる講演に感激し、5名が同盟に入会しました。
- ◆ 映画「伊藤千代子」の上映券は、2月末現在で3口となり、山口県内3ヶ所で上映が出来る事に。4月15日より全国で上映運動がスタート。山口県では5月下旬を予定しています。
- ◆ 3・15市川正一碑前祭に同盟から、大田事務局長があいさつ。伊藤千代子の上映成功への協力を訴えます。
- ◆ 同盟の国会請願は5月11日(水)です。憲法署名と一緒に黄色の署名集約をお願いします。
- ◆ 同盟県本部3月度役員会は18日(金)午後1時半から共産党県委員会で行います。
- ◆ 同盟署名は2月末現在、個人240筆です。

最後の4・16被告

田熊眞澄さんへ聞く

〈その1〉

田熊 昨年(2000年)、私が国連要請団長としてジュネーブに行った時、北海道の人と一緒にした。そのとき「大谷さんのその後どうなっているのだろう」と聞きました。北海道の旭川の国賠同盟の宮田汎さんという人が調べてくれました。彼女は共同被告として予審調査には名前がありませんが判決書にはありません。分離されたのですが理由不明です。私は判決の時は、保釈取り消して獄内被告になっていたので詳しい事情はわかりませんでした。しかし、彼女も懲役三年の判決を受けました。その後、下獄して郷里に戻ったようです。昭和十一年に北海道で天皇陛下が参加した陸軍大演習がありその予備拘束の名簿に彼

女の名前があったそうです。むごいことです。その後のことはわかりません。

公判と弁護士たち

田熊 公判では布施辰治弁護士や神道寛次弁護士が活躍していました。蓬田武弁護士、この人は一番若かった。衆議院で速記をやっているそれから弁護士になった人でした。蓬田弁護士は裁判では発言せず、ズーっと速記をとっていました。これをすぐ謄写版印刷して、出席できなかった被告にまわしたり、戦いの参考にしました。有名な市川正一の「日本共産党闘争小史」(その後改題「市川正一公判陳述」)もこうして出来たものです。他の弁護士が欠席することがあっても蓬田弁護士だけは必ず出廷していました。また、当時は裁判所も全文速記でなく要点速記でした。だから、宮城裁判長

も時々「速記はどうなっているか」など蓬田弁護士に聞いていました。

この時の裁判では十名の法廷委員が中心でした。弁護士は法廷の進行を援助する程度で、法廷委員の活躍が目立ちました。

「公判の公開」、「三・一五事件、四・一六事件の統一公判」などは、裁判の中で要求してかちとったものです。

宮城裁判長が市川正一には「発言停止」を繰り返してやっています。「そんなこと言うとか開を止める」と言って替えています。またし、検事も公開中止を繰り返して言っていました。公判の公開が彼らにとって大変脅威だったのでしようね。

もう一つよく覚えていることは、公判の最後の方で、鍋山が刑務所での待遇改善を要求して陳述したことです。メモも持たずに、二〇項目の要求をだしま

した。「よく調べているな。よくやってくれているな」と感心しました。これは「プロレタリア科学」の傍聴記にもありますがよくまとまっています。

当時、法廷の人は弁護士を除くとほとんどが和服でした。とくに女性はほとんど和服でした。私は再上京するとき秋元氏からカシミヤの上着をもらってそれを着ていました。

神道弁護士は、渋谷の道玄坂の入り口に事務所を持っていて青柳盛雄氏(弁護士、戦後日本共産党中央委員会・国会議員)もこの書生をやっていました。

保釈中の活動

田熊 さつきもふれましたが、私は公判に出て、赤色救援会(モツプル)の活動をしていました。が、収入がなくて困りました。それで淡徳三郎氏に相談しました。

つづく